

四宮とま



拝殿天井の龍の絵

四宮の龍

今年辰年ということ、元旦から訪れた参拝者が、拝殿の龍の絵を見上げ鑑賞したり、写真に納めたりしておられました。

当社の拝殿には、この絵以外にも、向拝（神社正面の拝札をするところ）の両脇には、龍の彫刻が施されています。

天井画は、吉敷の絵師、内藤鳳岳画伯によるものです。また、社殿に施された彫刻は、同じく吉敷出身の内務大臣内海忠勝の実兄、吉田岩亀翁の作です。

神社や寺院などに建立された建物や石造物などを見てみると、奉納された時代時代の地域の様子を垣間見ることが出来ます。

江戸時代後期といえ、維新の胎動の時期に当たり、社殿を建立した吉敷毛利家も係っていました。

当社は、これから美しい新緑の季節を迎えます。みなさんも清々しい社叢の中で、神社に飾られた絵や彫刻などを眺めながら、建立往時を偲びつつ、いろいろと、歴史に思いを巡らしてみるのが楽しいものだと思います。



向拝の彫刻

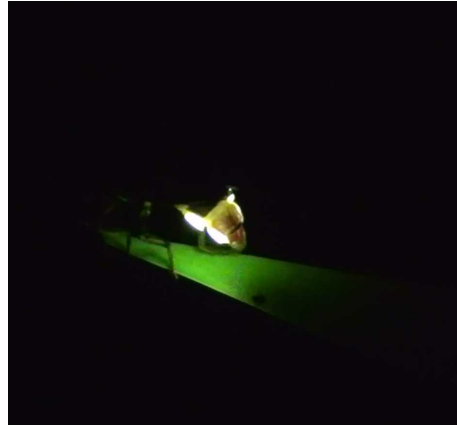
蛍が飛び交う 美しい空間

当社の脇には吉敷川が流れていて、毎年たくさん蛍が飛び交います。

対岸には岩山が聳え、川沿いに立つ木々に囲まれた中を飛び交う様子は、幻想的で美しい空間を醸し出しています。まるで夜空に瞬く星空を眺めているようにもあります。

蛍を鑑賞するコツは、目が闇夜になじむまでゆっくりと眺めること

です。そうすると、不思議なことに、多くの蛍の光が同時に瞬く瞬間に巡り合うことができます。
また、気候にも左右されるのか、日にちや時間によってもその数に変化が見られます。



中嶋禰宜就任のご報告

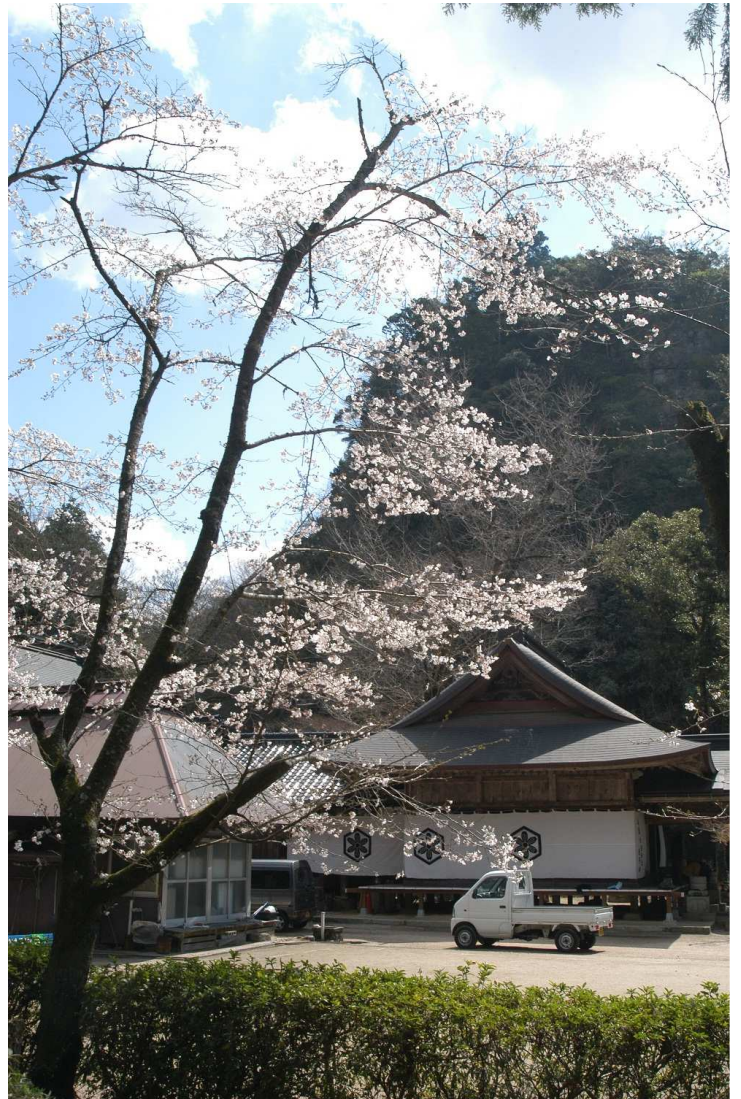


この度、当社の禰宜として、中嶋智晴神職が神社本庁から、任命されました。
中嶋禰宜は、これまで、野田神社、豊坂神社の神職を歴任され、当社の秋祭りやお正月にも助勤をいただいています。

今後、平日の午前中を基本に、当社の社務に当たっていただくことになりましたので、神明奉仕をはじめ、平日の祈願祭もお受けしやすくなりますので、本社の神社運営が大変よくなり、氏子の皆様のご要望にも叶うものと考えておりますので、よろしくお願いいたします。



初夏に向けて萌え上がる新緑



4月7日 満開の桜のもとに春祭り